

八ヶ岳美術館全国公募展 第6回 あなたが選ぶ信州の裂織展

2016.
10/1(土)-12/11(日)

裂織の里・原村から発信する裂織全国公募展です。

原村では古くから機織りが盛んに行われてきました。厳しい生活を生き抜くため、ぼろ布ひとつを大切に生み出された裂織は「ぼろ機織り」の名称で親しまれ、今なおその技が大切に継承されています。地域を代表する文化のひとつであるこの裂織は、近年では全国的に隆盛を見せ、高い芸術性を持ったアート作品としても注目されるようになってきました。

2006年に開始した裂織公募展も、隔年開催を続けて今年で丸10年を迎えます。入館者の投票によって決定する大賞と、芸術性・技術・伝統性など総合的多角的な視点で審査する審査員特別賞を設け、現代における裂織作品の価値と意義を評価しようとしています。

全国から集まった様々な裂織作品を一堂にご覧いただけるほか、かつて隆盛を極めた原村の養蚕とそれにまつわる信仰をご紹介します。「おかいこさまと原村の養蚕信仰」と、「裂織のいま・むかし」を特集展示いたします。古布再生の原点である「物を大切にする心」が込められた、素朴な織の美しさをご覧ください。

主催：八ヶ岳美術館、原村、原村教育委員会

共催：信州さきおりの会

後援：全国裂織協会、信州大学繊維学部

協力：LCV株式会社、ハツ手機織り保存会

賛賛：諏訪信用金庫、スワテック建設株式会社

■来館者による投票期間

10月1日【土】～11月20日【日】

■授賞式 11月30日【水】 13:00～14:00

投票結果発表—授賞式—講評

審査員特別賞発表—授賞式—講評

■特集展示1：裂織のいま・むかし

■特集展示2：おかいこさまと原村の養蚕信仰

ビデオ上映：貴重なビデオ作品を展示会場にて上映しています。

「LCV 特集 マテの機物語～ぼろ機織りの鶴さん～」2014年（制作：LCV 株式会社）

■審査員

高寺 政行（信州大学繊維学部教授・国際ファイバー工学研究所長）

野中 ひろみ（信州さきおりの会代表）

佐々木 清（全国裂織協会理事長）

小泉 悦夫（八ヶ岳美術館館長）

関連イベント

①機織り体験

10月8日（土）、10月16日（日）、10月25日（火）

各日とも10時～11時20分、13時～14時20分、14時30分～15時50分

定員：各回3名ずつ

参加費：1,000円（入館料別途）

講師：信州さきおりの会

織機を使った裂織体験。25×30cmの作品を持ち帰れます。織り時間約1時間。

前日までにご予約ください。出来上がりサイズには個人差があります。

②裂き布で布ぞうり作り

10月29日（土）10時～16時（途中お昼休憩あり）

定員：10名（要予約）

参加費：1,000円（入館料別途）

講師：ハツ手機織り保存会 阿部さん

持ち物：浴衣、カーテン、シーツ地など木綿の古布（浴衣一反ぶん程度）、

洗濯バサミ、はさみ、昼食

裂いた古布で、エコロジーで足にも気持ちいい布ぞうりを作ります。



八ヶ岳美術館（原村歴史民俗資料館）

〒391-0115 長野県諏訪郡原村 17217-1611 Tel/Fax 0266-74-2701

E-mail yatsubi1@po19.lcv.ne.jp http://www.lcv.ne.jp/yatsubi1/

■ご利用案内

八ヶ岳美術館の建物は、文化勲章受章者・村野藤吾の設計によるもので、JIA 25年賞を受賞しました。曲線を多用したドーム型で、天井はレースのカーテンの絞り吊りになっています。落ち着いた柔らかな明かりの中で作品をゆったりとご覧頂けます。

■JR小淵沢駅より八ヶ岳美術館まで直通バス10/30まで土日運行

開館時間 9:00～17:00（入館16:30まで）

休館日 年末年始、臨時休館を除き年中無休

入館料 一般（高校生以上）510円（※460円）

小・中学生 250円（※200円）

（※）内は20名以上の団体料金

諏訪市町村の小中学生は、図書カード、学生証などの提示により無料入館できます。

